



岡村病院
院内報

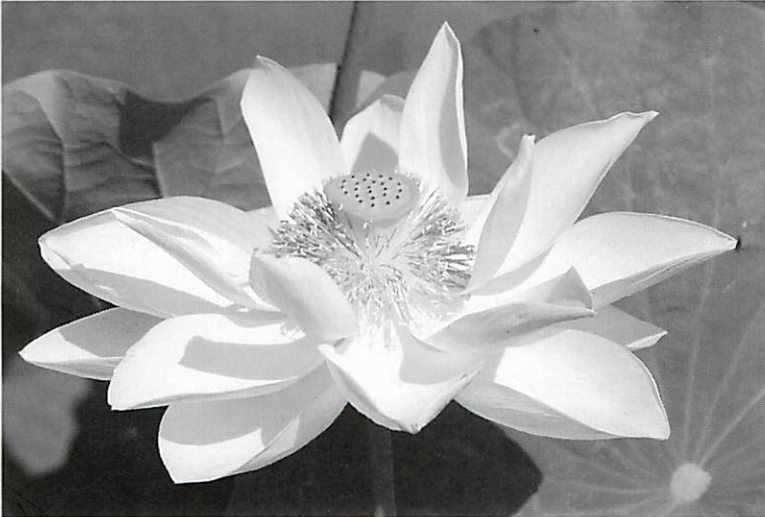
歩 (あゆみ)

第 53 号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成20年 8月20日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者様本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



白 蓮(びやくれん)： 安芸市土居の安芸城跡のお堀にある白蓮(びやくれん)を撮ってきました。蓮は、今の季節、紅色、淡紅色、白色の花を咲かせますが、白色のものは比較的少なく白蓮と呼ばれます。また、そのすがすがしい姿より、君子花とも呼ばれます。

高松内科クリニック 院長 高松 和永先生 写

今月のことば

「まず笑顔であいさつ」

最近の患者さんの退院時に書いて頂いているアンケートの中に、「よく声をかけて頂き、病気についても心がおちついて対応できたと喜んでます。」とか、「皆様、本当に良く、優しく接して下さいました。特に手術に不安がありました、何回も不安を取り除いて下さるよう説明をして下さり、平常心で取り組むことができました。」「私は生まれて初めての入院で、こんなにやさしい先生や看護師がおいで

て感動しました。」など書いて頂いているのがあり、本当にありがたく思いました。

日本看護協会の協会ニュース(6月号)に愛知県のある病院の紹介が出ていましたが、その病院の看護の合言葉は「まず笑顔であいさつ」だそうで、地域の信頼も得ておられるようです。

私共も「まず笑顔であいさつ」を合言葉にし、一段と明るく愛される病院づくりを心掛けて参りましょう。

持つことかあることか

高松内科クリニック
院長 高松 和 永



「持つことかあることか」という変な題を付けたのであるが、これは、最近、ふとした機会に知ることとなり、興味を持ち、読んでいるエーリッヒ・フロム著、佐野哲郎訳「生きるということ」の原題「To have or to be」を直訳したものです。「持つこと」とは、財産や知識、社会的地位や権力を持つことで、「あること」とは、社会の中で自分のあることを意識し、自分の能力を能動的に発揮し、生きる喜びを確信するというものです。この本では、この両者について、宗教的、哲学的にその意義を検証しています。この本を読んでいて、ふと、ある方のお葬式のことを思い出しました。

15、6年前になるでしょうか、大学関係のお母様のお葬式でした。その日は、お葬式のある岡山県高梁市に朝一番で向かいました。昼前にお葬式の会場に着きました。会場は、川沿いに桜並木のある傍らの古い小さな教会でした。お葬式の時間まで、川沿いの桜並木や備中松山城、頼久寺などを散策いたしました。その時に、備中藩は小さな貧しい藩ですので、質素ですが、武術や学問に優れた人材を育てることが、藩の方針であったことや山口に来たフランシスコ・ザビエルの影響なのでしょうか、中国地方の山里にキリスト教が広く行きわたっていることを知りました。

お葬式は、午後から始まりました。始めに賛美歌「いつくしみきふかき（賛美歌第312番）」で始まりました。次に若い牧師さん（確か森牧師といわれたように思いますが）のお話がありました。お母様は学校の先生をしながら、立派にお子様方を育てられ、お子様方が巣立った後、ご自身も定年でお仕事を終わられたそうです。その後は、教会の奉仕活動に積極的に参加されたそうです。中でも教会の礼拝に参列出来ない入院中や自宅で病床に臥す信者の方のところへ若い牧師を連れて行って、その場で礼拝を行ったそうです。この礼拝は、病床に臥し、死の不安と闘っている人々にとって、

どれだけ心の平安を与えたかは想像にかたくありません。そして、お母様の遺言の最後の言葉が、「私は、いろいろな罪を犯しました。どうぞ神様、天国の扉を開けておいて下さい。」であったことが若い牧師さんから、静かに語られました。私は、その時に何とも言えない感動を覚え、涙を流していました。その時、私は、世の中には、いろいろなところに立派な人はいるものだと感じました。帰りの電車の中でもその事が頭を離れずになぜ、こんなに感動するのだろうかと考えていました。救いを求める人がいて、それを手助けしようとする人がいる。そして、その手助けをする行為に何も求めず謙虚に社会において与えられた自分の役割や存在を認識し喜びとするという非常に単純なことを続けられていたこと、その崇高さが感動をもたらしたのだと思っています。この中には、財産、社会的地位、権力などの要素は何も存在しないのです。これが生きるということでないかと思います。医療の世界においても、このように病気で困っている人がいて、それを助けようとする医師やスタッフがいて、一生懸命に努力する。そして、その間に何も介在しないというのが理想の姿なのでしょう。

このような経験から感じたことは、前述の本の中でも述べられているように、財産、社会的地位、権力を「持つこと」は生きる目的にならないということです。今、私は、自分の能力、立場において出来ることを一生懸命行い、社会の中に自分の役割や存在（「あること」）を意識し、その中に生きる喜びを見出すことを生きる目的とすることが大切であると感じています。このことは、この葬儀に参列してお母様の生き方から教えられたと思います。権力争いやマネーゲームが横行し、お金、力、経済第一主義の風潮が主流を占める現代において、このことはいつまでも心に留めておく必要があると考えています。

不整脈のお話

心臓血管外科医長 西村 哲也



よく胸がどきどきしてしんどいとか、脈が跳んだりして気分が悪いといったことを経験されることがあるかと思います。今回は、こういった脈のお話をしてみたいと思います。

脈拍は、手首の親指側を触れてみると、ドクッドクッと感じられます。このドクッが1回の心臓の収縮で送り出された血液の波で、これを脈拍として感じているのです。

脈拍は普通、1分間に50～100回、規則正しく打っています。脈拍数が50以下を徐脈性不整脈、100以上を頻脈性不整脈と言います。また、脈が規則正しく打っていない場合、特に全く不規則に打っている場合には、心房細動と呼ばれる不整脈があります。また、規則正しく打っている中で時々脈が跳ぶ場合には、期外収縮と言う不整脈があります。

症状は、徐脈性不整脈では、軽い場合は、あまり自覚症状は無いようですが、進んでくると息切れ、身体のしんどさを感じ、もっとひどくなると、めまい、失神発作を起こしてきます。頻脈性不整脈では、動悸、胸苦しさを感じることがあります。期外収縮では、脈が跳ぶのを自覚しますが、多くの方が経験したことがあるかと思いますが、あまり心配する必要はありません。

治療としては、徐脈性不整脈では、薬物よりペースメーカー植え込み術が行われます。徐脈で失神して倒れたり、車の運転中に意識がなくなると大変なことになります。また、心臓が止まって死に至ることもあるため、ペースメーカーと言う機械（心臓に電気刺激を送って心臓を動かす）を植え込む必要があります。機械本体の大きさは、マ

ッチ箱程度で、鎖骨下の胸の皮下に植え込まれます。鎖骨下の太い静脈を穿刺して心臓内に電線を入れ、これを機械本体につないで心臓に刺激を送る仕組みになっています。脈拍が遅くなると刺激を送って一定の脈拍数を保つようになっています。

頻脈性不整脈では、脈を落ち着ける色々な抗不整脈薬があり、これを継続して飲み続けたり、頻脈発作時に飲んだりする場合があります。また、心房細動と呼ばれる不整脈では、動悸を感じたり、逆に徐脈になったりすることがあり、場合によって抗不整脈薬、ペースメーカー治療などが行われます。ただ、この不整脈は、心臓内の血液の流れが滞る様な状態になり、心臓内に血液の固まりができることがあります。これが心臓を飛び出て頭の血管を詰まらせてしまうと、脳梗塞を引き起こしてきます。したがって、この不整脈を持っている方には、血液の固まりを押さえる、ワーファリンと言うお薬を飲んで頂く必要があります。

また、不規則な生活、タバコ、過度の飲酒、疲労、ストレス、コーヒーなどの刺激物のとりすぎ、など生活習慣からも不整脈を来すことがあります。これら生活習慣の改善も必要かと思われれます。

以上、簡単に不整脈のお話をさせて頂きましたが、眩暈がすると頭の病気と考えがちですが、心臓が原因と言うこともよくあります。いずれにしても、眩暈、息切れ、しんどさがあるようでしたら、一度循環器専門の先生に診て貰うことをお勧め致します。

また日ごろより脈を診てみることも大切な、と思います。



● 常勤医師のご紹介 ●



山中伸悟先生

循環器内科医長 昭和45年9月26日生

略歴

平成8年 高知医科大学医学部卒業
平成8年 高知医科大学医学部 老年病科 入局
平成10年～11年 土佐市民病院 循環器科
平成11年～12年 近森病院 循環器科
平成12年～14年 くぼかわ病院 循環器科
平成14年～17年 近森病院 循環器科
平成17年～18年 高知県立幡多けんみん病院 循環器科副医長
平成19年～20年 高知県立幡多けんみん病院 循環器科医長

ご挨拶

今年6月9日より当院循環器内科医長に就任致しましたので、一言御挨拶申し上げます。

経歴は、高知市出身、平成7年に高知医科大学（現高知大学医学部）を卒業し、同大学老年病科に入局致しました。以後、近森病院や幡多けんみん病院などでの勤務を経て現在に至ります。主に高血圧、虚血性心疾患、心不全、不整脈といった循環器領域全般の診療を行ってまいりました。

これまでの勤務先は総合病院クラスが多く、専門以外の分野を取り扱う機会は比較的少なか

った訳ですが、当院のような個人病院では少なくとも内科全般の診療を必要とされ、これからは心機一転「内科」診療に励む所存でおります。それと同時に、当院では冠動脈や末梢動脈のインターベンション、ペースメーカー植え込みといった高度な治療も行っており、これまでの経験を生かして、微力ながら岡村病院の医療レベルの発展に貢献し、ひいては患者さんの疾病回復の手助けになれば幸いです。

まだまだ若輩者ですが、これから宜しくお願い致します。

患者さんからのお便り

塩分の欠乏

大山 道雄

私は94歳の独居老人です。年のわりには、比較的健康で、ちょっとした風邪やひざの痛みの為に、よくお医者さんにかかりますが、最近はお蔭様で大きな病気はしておりません。

以前、風邪から肺炎をおこした事がありましたので、用心して毎朝起きる時に体温を測ります。平熱は36度前後で、その位の時は起きても気分がよいのですが、36度6分以上になりますと、頭が重かったり、咳が出たりして風邪の気分になる事があります。

毎日暑い日がつづく最中でしたが、去る7月18日（金）、朝起きる時の体温が36度7分でした。

いつもならお医者さんに診てもらいに行くところでしたが、用事がたまっていたので、家にあった風邪薬をのみました。この時は金曜、土曜と2日つづけてのみましたが、熱は下がりませんでした。心配になって日曜日の朝、岡村病院へ行きました。当直の先生が、ていねいに診て下さって、塩分が欠乏している、水分と共に漬物や梅干しなども食べて塩分を補給するようにと言われました。

びっくりしました。今までは一般に、塩分をとり過ぎていと言われて、塩分を減らすことばかり考え、みそ汁を飲んでも具だけ食べて汁は残すようにし、漬物や梅干しなどは殆んど食べません

でした。しかし、考えてみると、毎日暑さの為に汗をかき、外へ出て行ったような時には一日に何回も肌着を着替えている現状でしたので、塩分の欠乏も当然かと思いました。

それで、それからは、今までは殆んど食べなかった梅干しも食べるようにし、その他にも塩分補給に気をつかうようにしました。そして、点滴もしてもらい容態は回復しました。塩分の取り過ぎは勿論よくないと思いますが、暑さのきびしい時

には、塩分の欠乏という事もあるのだと気付かされました。

今年の夏は雨が少なく、暑さもきびしかったので、同じような経験をされた方もあったのではないかと思います。

それと共に古い話になりますが、戦争中、徴用で長崎の三菱製鋼所へ行っていた時、暑い暑い工場の現場でみんなが仕事の合間に水と一緒に塩をなめていた事を思い出しました。

患者さんからのお便り

雑詠五句

徳久 雄厚

雑詠五句

樹を叩く眞々と過去魁る

艶多き齡しのはせ彩日傘

浅辣菲漬けば弾ける口の中

夏祭り花はうだいの差狐心

夏露店灯りがさそう売吸呵

壺同人 徳久雄厚



「初めての子ども」

理学療法士 山下 等生

大変私事ではありますが、6月10日に初めての子どもが医療センターで誕生しました。もうすでに男の子ということはわかっていましたが、3,324gで母子ともに無事であり、新しい命の誕生に非常に嬉しく思いました。6月10日の出産は予定日より2週間程早いものでしたが、予定どおりいくと帝王切開になるといわれるくらい赤ちゃんが大きくなるということでしたので、自然分娩で何よりでした。

妻の妊娠がわかり、4ヶ月もたってくると、男の子か女の子かわかるらしく、医療はすごいと思いつつながら、診断を受けると、男の子だということがわかりました。さあ、男の子だとわかってどんな名前をつけようかと、新しい悩みが始まりました。妻は山崎まさよしの「まさよし」や福山雅治の「雅治」、また、内野聖陽の「聖陽」などがいいと思っていましたが、それは全部芸能人の名前ではないかと、家族や親族に笑われてしまう始末。また、

「廣大」はどうかとも言っていました。それは、もう30年ほど前になるでしょうか、熱中時代という水谷豊が教師役をしていたドラマがありましたが、その教師が北野廣大という名前だったので、そこからきたのでしょうか。

そのように色々候補が挙がりながら、なかなかこれといった名前も見つからず、時間が過ぎていきました。すると、ドラマのラストフレンズや大河ドラマに出演している俳優の瑛太がなかなか印象がいいなあと、妻と二人で思っていましたところ、「瑛太」にするかえ！と言われ、それもいかなあと思いました。が、よくよく考えると結局は芸能人かい！ということでした。

その後、熟慮に熟慮を重ね、「瑛太」と「廣大」の二つに絞りました。この二つの名前の字画・画数または、姓名判断を行い、わけがわからなくなる時もありましたが、「廣大」では、いまひとつ字画・画数が悪く、「瑛太」では、まあ良い画数でした。そして、「瑛」という字には、高貴なもの、尊いもの、宝物という意味があり、「太」は大きい、

太いという意味です。つまり、私たち夫婦にとって、大きな宝物を授かったということで「瑛太」と名づけることとしました。われながらいい名前だなあと思うのは親ばかの証拠でしょうか。すすくと無事に大きく育って欲しいと願っています。

今、社会の方に目を向けてみますと、環境破壊や地域紛争、また、原油の高騰、それによる穀物や食料の高騰、さまざまなものが値上がりをして、生活を圧迫するようになってきております。また、青少年による犯罪の増加、青少年に限らず、本来、子どもたちの見本となるべき大人たちのモラルの低下や重犯罪も増加傾向にあります。我々の瑛太が成人するころにはどのような社会になっているかは想像もつきません。瑛太の生きていく時代は厳しい時代が待っているかもしれません。ですが、瑛太は家族や親戚、さまざまな人から大切にされています。どのような時代にあっても、自分の事を色々な人が大事にしてくれたように、瑛太も周りの人を精一杯大事にするような大人に成長してほしいと願っています。

「行ってきました甲子園」

医事課 福田 奈那

「お姉ちゃん、阪神―中日戦のチケット取れたで!!」大阪にいる妹から電話をもらってから1ヶ月半。待ちに待った日がやってきました。その日は朝からウキウキで観戦モード全開…といきたかったのですが、試合があるのは土曜日。というわけで、午前中は真面目に働きウキウキ気分は午後までお預けとなりました。そして業務終了。20分後に出発する汽車に乗らなくてはならないため必死で着替え、駅まで自転車を飛ばし、何とか時間前に無事到着し乗車。汽車に揺られること3時間半、とうとう念願の甲子園に着きました。学生の頃、京都に住んでいたこともあり、何度か甲子園には足を運んだことがあったのですが、久々の甲子園は改装工事の真っ最中で、建物一面を覆っていた蔦はなく、外観や座席はきれいになっており全く一緒というわけではありませんでしたが、甲子園のもつ独特の雰囲気はそのままでした。変わらないでいてくれたことに感謝しつつ、感慨にふけっていると横から「お姉ちゃんお腹が空いたきなんか

食べようや」という声。もうちょっと感慨にふけりたかったのに…と思いつつ空腹には勝てず早で甲子園の中へ。何にしようか迷いつつも、甲子園といえばやっぱりカレー。(雰囲気の良いので甲子園で食べるカレーはいつ食べても最高おいしいのです。)というわけで、カレーを2つ持ち急いで座席へ。試合開始まであと15分。急いで腹ごしらえをし終えたところで試合開始。初回からノーアウト一、二塁とハラハラさせられ、続く2回にはノーアウト満塁と絶体絶命の場面が多く相手投手に抑えこまれて、なかなかヒットの出ない、手に汗握る試合でしたが関本選手の殊勲打で2点をあげると最後は高知出身の藤川投手がきっちり抑えて見事勝利。最後には5万人のタイガースファンのみならず勝利を祝って、六甲おろしを熱唱し万歳三唱。最高の一夜となりました。そして行ってみると、思っていたよりも甲子園は近く、またぜひ行きたいと思っています。

血管検査室（バスキュラーラボ）開設

～ 今なぜバスキュラーラボか ～

検査室 浜田 佐智子

血管疾患には、動脈疾患と静脈疾患があります。近年は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が注目され、動脈硬化の危険因子である高血圧、糖尿病、脂質異常（高脂血症）、肥満、喫煙などが、少しずつ軽度でも複合的に関与すると「動脈硬化」を進展させ、全身の循環器疾患、すなわち心筋梗塞や脳血管疾患、閉塞性動脈硬化症および腎不全などが発症します。これら疾患の診療とともに、動脈硬化の予防・早期診断の重要性も認識されつつあります。

さらに、「エコノミッククラス症候群」も、よく知られるようになった静脈疾患です。これは、下肢の深部静脈血栓とそれによって引き起こされる肺塞栓症も含めた症候群です。

このように血管疾患は決して珍しい病気ではなく、早期発見、速やかな診療に繋げる為に、血管を無侵襲に（危害を与えずに）形態的、機能的に評価することができるようなシステムが、すなわち血管検査室（バスキュラーラボ）です。

血管検査室（バスキュラーラボ）開設に向けての歩み

- 2007. 1 JPIC (Japan Peripheral Intervention Conference) / 大阪 参加
血管診療ライブとエコーハンズオンなどの勉強をする
- 2007. 4 岸和田特州会病院 / 大阪にて1週間、エコーの達人・竹本和司（現和歌山医大）さんより、下肢動脈・静脈及び腎動脈の血管エコーの研修
- 2008. 3 EPIC (Ehime Peripheral Intervention Conference) / 愛媛 参加
エコーハンズオン研修
- 2008. 3 最新鋭エコー機器（GE社製）導入
- 2008. 4 東京医科歯科大学病院 血管検査室 / 東京 見学
バスキュラーラボの流れや使用機器の説明を受ける。
- 2008. 4 JET (Japan Endovascular Treatment Conference) / 東京 参加
- 2008. 5 SPP 皮膚かん流圧装置（カネカ製）導入
- 2008. 7 院内血管検査室（バスキュラーラボ）パンフレット完成



【血圧脈波検査装置】



【エコー装置】



【皮膚かん流圧装置】

詳しくは、病院受付前のパンフレットボックスにあるパンフレットにて、使用機器や所要時間などの説明をしています。冒頭に記載したような危険因子が心配な方は、パンフレットの裏ページのチェックシートもご利用ください。

● ニューフェイス ●



伊藤光子さん
看護師（3F病棟課長）
趣味：読書、ウォーキング



片岡美都さん
看護師（4F）
趣味：スポーツ観戦



由良美佐子さん
看護師（3F）
趣味：ビデオ鑑賞



佐藤恵里子さん
看護師（4F）
趣味：読書、ドライブ



大石香弥さん
看護師（3F）
趣味：音楽鑑賞、ドライブ



川上嘉恵さん
看護師（4F）
趣味：旅行



日向文子さん
看護師（3F）
趣味：特にありません



佐々木聖子さん
秘書
趣味：ウォーキング、水泳



正木四郎さん
診療放射線技師
趣味：旅行、バレーボール



十萬広紀さん
薬剤師
趣味：散歩

新入職員歓迎会を行いました

6月13日に城西館の日輪の間をお借りし、新入職員の歓迎会を行いました。

新入職員の紹介をし、乾杯の後は皆さんとお食事となり、料理もうつぼのタタキや、ローストチキン、ケーキなどが用意されました。その中でも



人気だったのが、目の前で作ってくれる広島焼きでした。

飲み物も、ビールはもちろん、チューハイやカ

クテルなども人気があり皆さんで楽しむことができました。

新入職員の皆さん、今後のご活躍をお祈りしています。

